【 診療科：口腔外科 】
【 レジメン登録番号：OS-11 】

〈Pembrolizumab＋CBDCA＋5FU併用療法 〉

	投与量	投与経路	投与スケジュール（day）
			1 2 3 4 5 6 7 8 ・・・・・ 15 ・・・・ 21
キイトルーダ	200mg	div	○
カルボプラチン	AUC5	div	○
フルオロウラシル	1000mg/㎡	civ	○ ○ ○ ○

【1コース期間： 21 日】　　【総コース数： 6コース】

【適応癌種：頭頸部癌　　】

【時期： 術前 、 術後 、 手術不能・進行・再発】

【休薬・減量に関する要件】

項目	基準	減量内容	休薬時の再開基準

投与プロトコール

〈第1日目〉

Rp	薬剤名	投与経路（速度）
Rp.1	アプレピタントカプセル 125mg	p.o.
Rp.2	キイトルーダ 200mg	div（30分で）
	生理食塩水 100mL※1	
Rp.3	生理食塩水 50mL	div（全開で）
Rp.5	デキサート 9.9mg※2	div（15分で）
	5-HT_3R Blocker 1A	
	生理食塩水 50mL	
Rp.6	カルボプラチン（AUC：5）×（GFR＋25）	側管div（2時間で）
	5%ブドウ糖液 250mL	
Rp.4	フルオロウラシル 1000mg/㎡	civ（24時間持続）
	ソルデム3A 500mL	

〈第2～4日目〉

Rp	薬剤名	投与経路（速度）
Rp.1	アプレピタントカプセル 80mg	p.o.（day2～3のみ）
Rp.2	デキサート 6.6mg	側管div（30分で）
	生理食塩水 100mL	
Rp.3	フルオロウラシル 1000mg/㎡	civ（24時間持続）
	ソルデム3A 500mL	

【参考文献：Lancet2019;394:1915-28
】
【備考：①6コース終了後、増悪なければキイトルーダ単剤による維持療法を行う（35コースまで）
】
【備考：※1・・・インラインフィルター（0.2～5μm）を用いて投与すること。最終濃度が1～10mg/mLとなるように調製すること。　　】
【備考：※2・・・アプレピタント未使用時は、デキサートの投与量を 19.8mg/回へ倍量にする。　　】
【変法情報：
】